公益財団法人８０２０推進財団

令和７年度　歯科保健活動助成事業報告書［抄録］

１．事業名：高齢者歯科口腔機能健診

２．申請者名：公益社団法人　東京都町田市歯科医師会

３．実施組織：公益社団法人　東京都町田市歯科医師会
町田市保健所

４．事業の概要：

71 歳以上のオーラルフレイルを早期発見する健診を実施し、高齢者の口腔機能維持を支援する。口腔機能低下の予防により肺炎等の疾病の予防に繋げると共に、口腔健康の意識向上を図り高齢者の健康水準の向上および健康寿命の延伸をもたらす。高齢者の口腔機能の維持と支援、口腔機能低下の予防を図り、健康寿命の延伸に貢献できる。

５．事業の内容：

高齢者歯科口腔機能健診を行うにあたり、健診事業に協力して下さる町田市歯科医師会会員を募集します。健診事業に協力してくださる協力医には健診に必要な内容の研修を受講していただき修了後、高齢者歯科口腔機能健診を開始します。

健診内容は地域高齢者誤嚥リスク評価、摂食可能食品による評価、臼歯部咬合の有無、RSST、試料ガムによる摂食機能評価などを総合的に判定し、軽度の場合は摂食機能の改善指導を行います。中等度以上の場合は精密検査を行うことができる当会が指定した支援歯科診療所への受診を勧める。

支援歯科診療所では MNF-SF、舌圧測定器を用いた舌圧測定、開口力トレーナーを用いた開口力測定を行い、摂食機能改善への指導を行う。支援歯科診療所での改善が望めない場合は、当会で協力依頼をした二次医療機関への受診を勧める。

このように高齢者の口腔機能維持と支援、口腔機能低下の予防を図り、健康寿命の延伸を目的とします。

６．実施後の評価（今後の課題）：

令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までの高齢者口腔機能健診受診者数は 350 名でした。このことからも、この分野での啓発の範囲が狭いことがわかります。足腰が弱くならないようにと散歩や体操をする高齢者は多いのですが、オーラルフレイルにならないように舌、、嚥下に係るトレーニングをしようと思う人は稀だと思います。健診後に受診者に配布する用紙を今年度から保存、継続受診を促すため冊子にしました。

350 人の受診者のうち、中等度以上と診断され支援歯科診療所を受診された方は 29 人でした。高齢者には、衰えに早く気づいてもらうことが大切です。

今年度は、外来での診断、指導から訪問へと移行したさい、ミールラウンドをとおして診断、指導を行えるよう研修会を行った。来年度も、高齢者の健康維持のために健診の受診率を上げて予防していくことが必須と考えます。よって継続事業として健診を多くの方に周知して受診していただくように啓発してまいります。